

2026年3月期

第3四半期決算説明資料

MIC株式会社 | 2026年2月12日

未来イノベーション COMPANY

3Q

MILLER

INDEX

未来イノベーション
COMPANY

01 | ハイライト

02 | 2026年3月期 3Q業績

03 | 会社概要と事業特徴

04 | 業績好調を支えるトピックス

01

経常利益の業績予想を**18.7%上方修正**

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期 当初予想	2026年3月期 修正後予想
売上高	12,275	13,800	14,600
経常利益	1,019	1,340	1,590

当初予想比
+18.7%

業績好調に伴い本年度は配当性向を**40%に引き上げ**

2025年11月13日発表

37円50銭



本日発表

60円

+ 22円50銭

当初予想比

160%

HIGH

INDEX

未来イノベーション
COMPANY

01 | ハイライト

02 | 2026年3月期 3Q業績

03 | 会社概要と事業特徴

04 | 業績好調を支えるトピックス

02

2026年3月期に向けた想い

蒔いた種を 芽吹かせる

2026年3月期を通じて、
360°フルサービスカンパニーとして
より多くの顧客の皆様から
「信頼され、選ばれ続ける」企業となることを目指します。



MESSAGE

2026年3月期3Q決算（3Q単体）

新規・既存顧客共に売上高が順調に推移、売上原価率の改善により前年から増益

売上高、経常利益ともにQ業績として**過去最高**

過去最高

2026年3月期3Q

売上高

増収

前年同期比

+ 12%

3,920百万円

過去最高

2026年3月期3Q

経常利益

増益

前年同期比

+ 48%

534百万円

2026年3月期3Q

経常利益率

改善

13.6%

【前年対比】 +3.3pt

2026年3月期3Q決算（3Q累計）

3Q累積業績として過去最高の売上高・経常利益を更新

過去最高

2026年3月期3Q累計

売上高

増収

前年同期比

+ 18%

10,899百万円

過去最高

2026年3月期3Q累計

経常利益

増益

前年同期比

+ 78%

1,377百万円

2026年3月期3Q累計

経常利益率

改善

12.6%

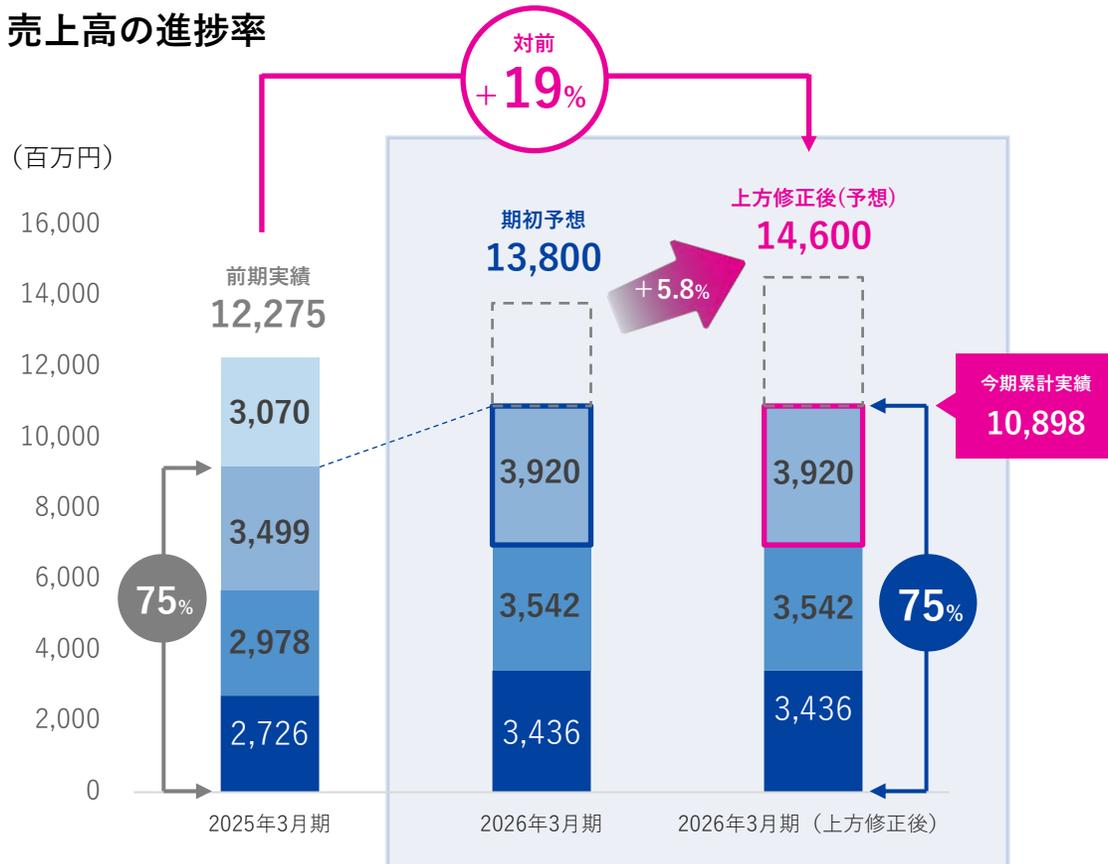
【前年対比】 +4.2pt

四半期別進捗率

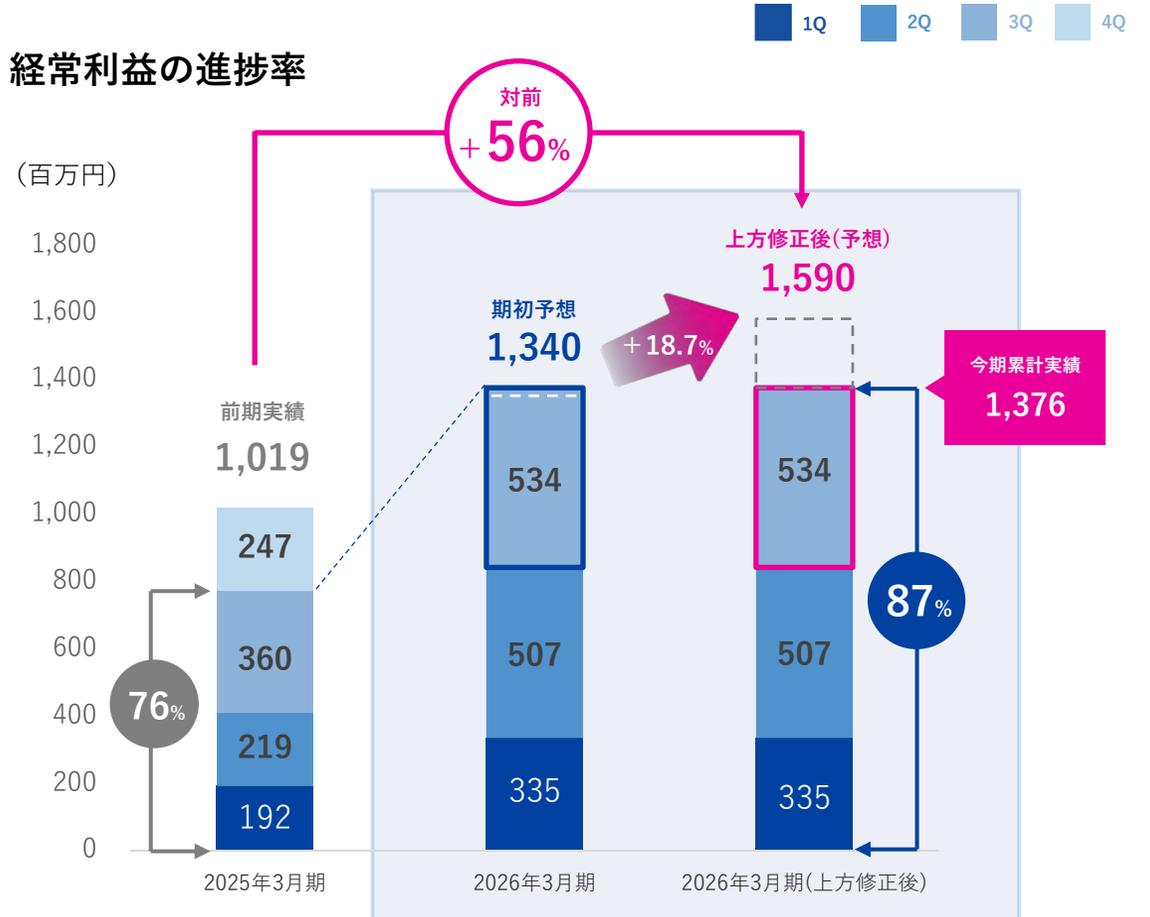
業績予想の修正により

対前売上は **+19%** 対前経常利益 **+56%**にて着地見込み

売上高の進捗率



経常利益の進捗率

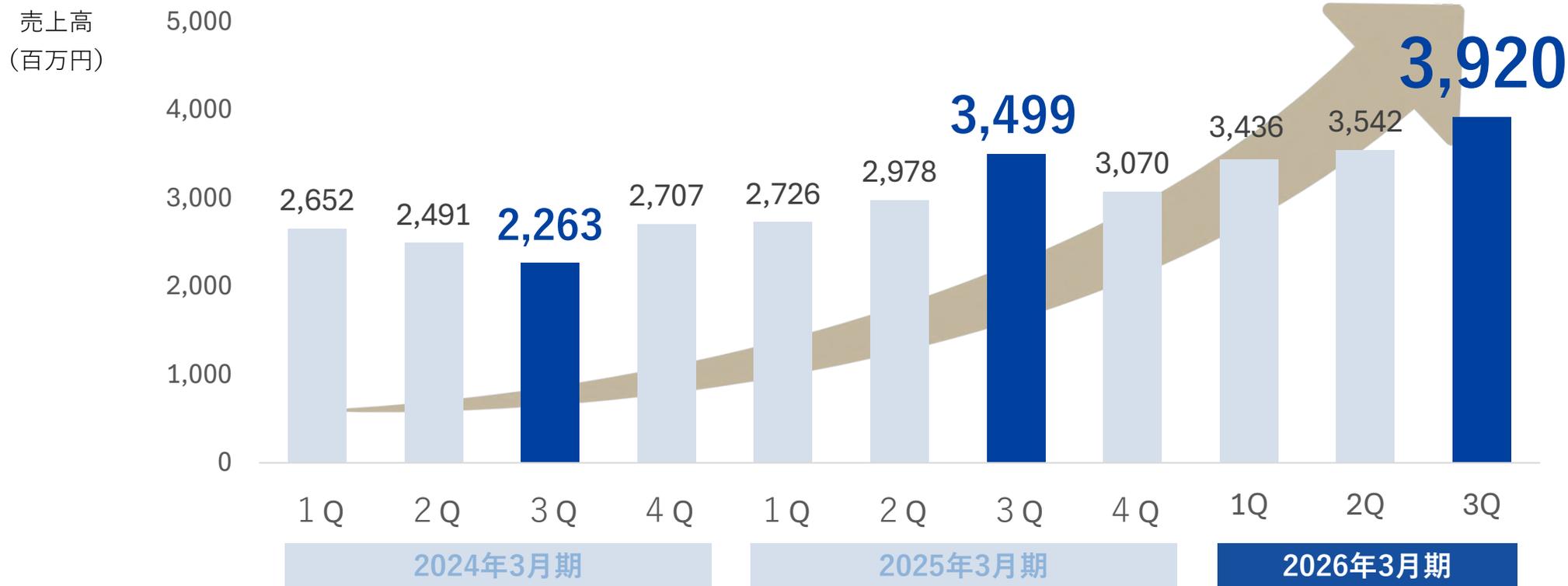


1Q 2Q 3Q 4Q

四半期売上高の推移

2026年3月期3Qの売上高は**3,920百万円**（前年同期比+12%）

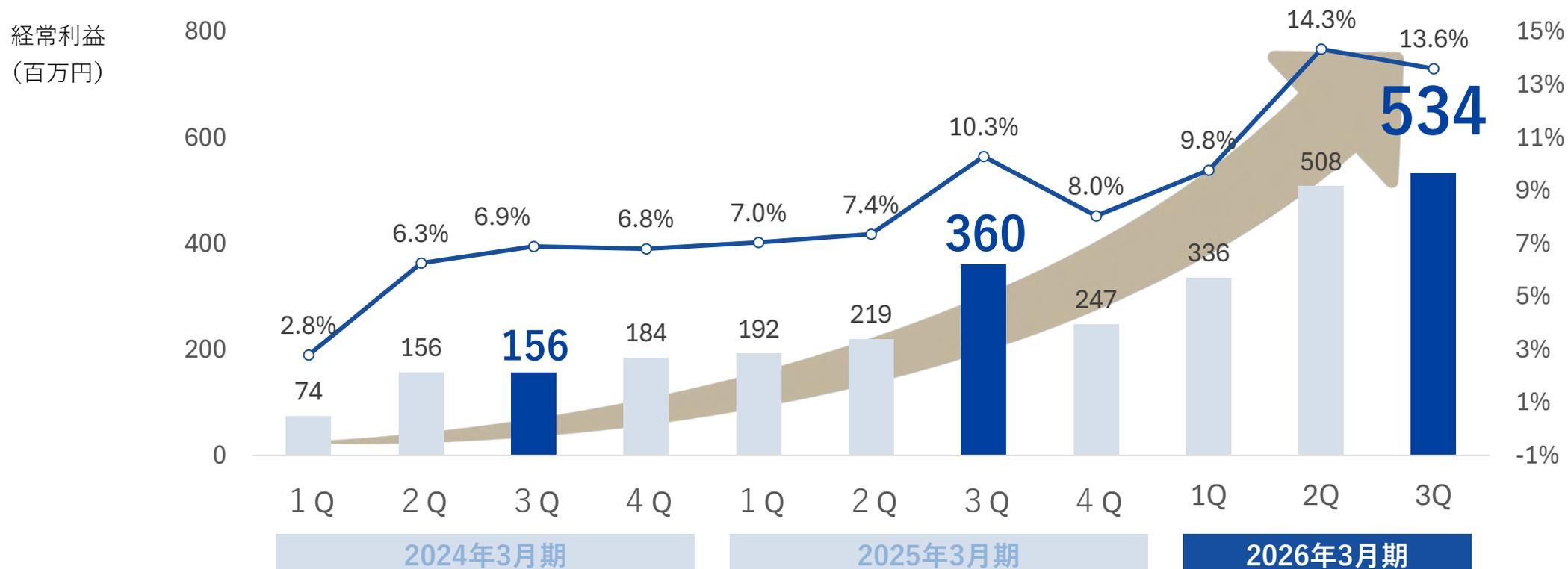
リテール販促費用は顧客にとって必要不可欠かつ継続的な予算のため
実質的なストック型のビジネスモデルに



※ 2024年3月期（第4四半期会計期間）は、監査法人による監査及び監査レビューを受けておりません

四半期経常利益の推移

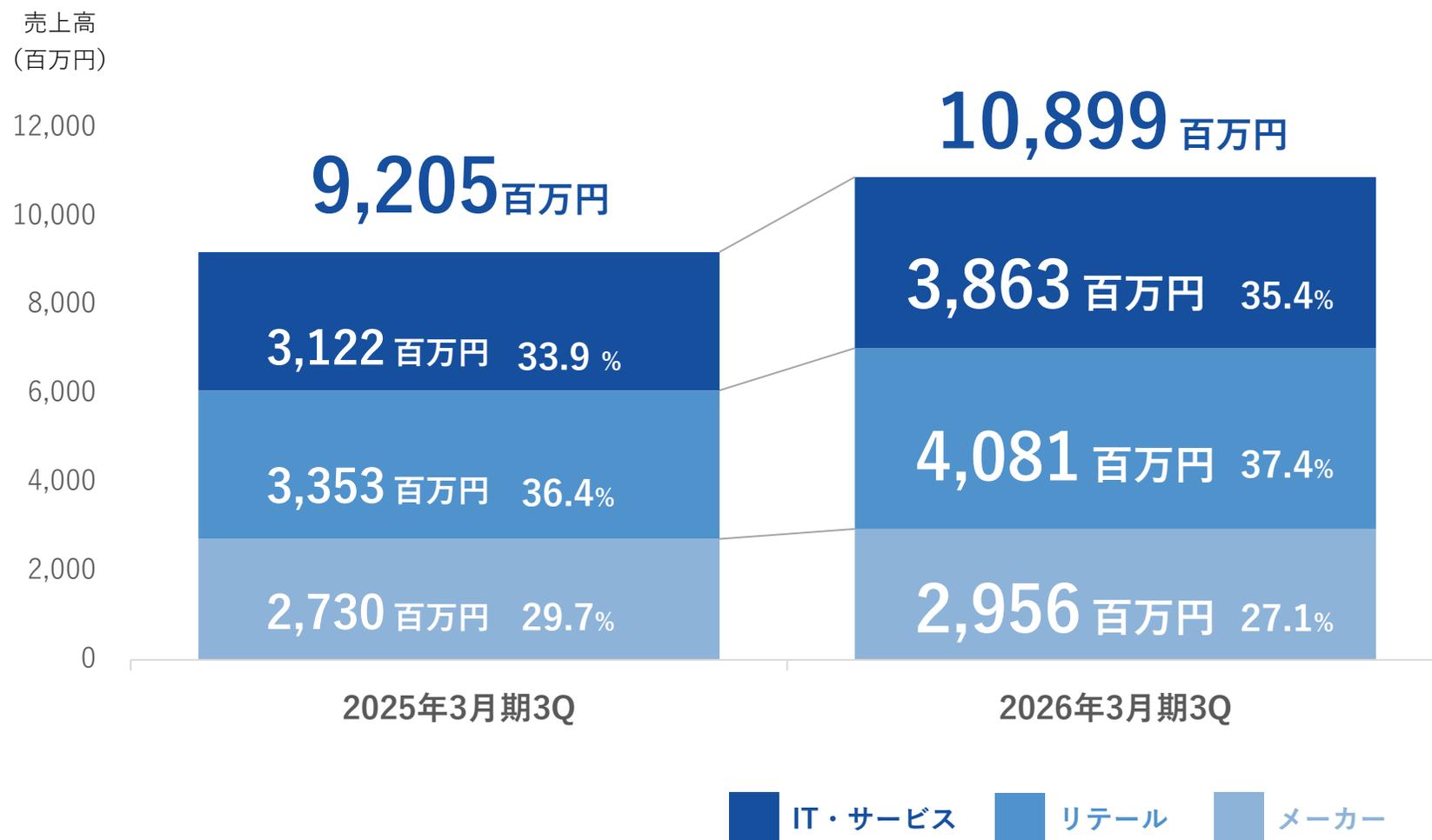
2026年3月期3Qの経常利益は**534百万円**（前年同期比+149%）



※ 2024年3月期（第4四半期会計期間）は、監査法人による監査及び監査レビューを受けておりません

売上高の内訳

全顧客群において
前年同期比から大きく伸長



損益計算書

原価の抑制により売上総利益率 **3.2pt** 改善、販売管理費 **0.7pt** 改善

(百万円)	2025年3月期 (3Q累計)		2026年3月期 (3Q累計)			
	実績	売上構成比	実績	売上構成比	前年同期増減	前年同期比
売上高	9,205	100.0%	10,899	100.00%	+1,695	118.4%
売上原価	6,611	71.8%	7,478	68.6%	+868	113.1%
売上総利益	2,594	28.2%	3,421	31.4%	+827	131.9%
販売費及び一般管理費	1,829	19.9%	2,090	19.2%	+261	114.2%
営業利益	765	8.3%	1,331	12.2%	+567	174.1%
経常利益	772	8.4%	1,377	12.6%	+605	178.4%
当期純利益	503	5.5%	916	8.4%	+412	182.0%

貸借対照表

純資産も9,001百万円と、引き続き自己資本比率は**76%**と高い水準を維持

(百万円)	2025年3月末		2026年12月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減
流動資産	6,080	56.9%	7,105	60.1%	1,025
現金及び預金	3,661	34.3%	4,058	34.3%	397
売掛金	1,896	17.8%	2,316	19.6%	420
固定資産	4,603	43.1%	4,721	39.9%	118
有形固定資産	4,166	39.0%	4,290	36.3%	124
建物及び設備	1,558	14.6%	1,495	12.6%	-63
土地	2,360	22.1%	2,361	20.0%	1
無形固定資産	106	1.0%	87	0.7%	-19
投資その他の資産	329	3.1%	343	2.9%	14
資産合計	10,683	100.0%	11,826	100.0%	1,143

(百万円)	2025年3月末		2026年12月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減
流動負債	2,346	22.0%	2,799	23.7%	453
買掛金	729	6.8%	847	7.2%	118
短期借入金	301	2.8%	600	5.1%	299
1年以内返済長期借入金	0	0.0%	0	0.0%	0
未払法人税等	317	3.0%	301	2.5%	-16
固定負債	71	0.7%	26	0.2%	-45
純資産	8,265	77.4%	9,001	76.1%	736
株主資本	8,265	77.4%	8,994	76.1%	729
新株予約権	0	0.0%	7	0.1%	7
負債純資産合計	10,683	100.0%	11,826	100.0%	1,143

INDEX

未来イノベーション
COMPANY

01 | ハイライト

02 | 2026年3月期 3Q業績

03 | 会社概要と事業特徴

04 | 業績好調を支えるトピックス

03

会社紹介

会社名	MIC株式会社
創業	1946年7月1日
所在地	東京都新宿区西新宿5-14-3
代表者	代表取締役会長 水上 光啓 代表取締役社長 河合 克也
資本金	5億240万円（2025年7月25日時点）
上場取引所	東証スタンダード市場（証券コード：300A）
正社員数	352名（2025年12月末時点）

事業領域

リテール販促支援

- ・コンサルティング
- ・クリエイティブ
- ・システム開発
- ・BPO
- ・ものづくり（印刷・製造）
- ・フィールドサポート
- ・フルフィルメント

拠点

新宿本社
 八王子フルフィルメントセンター（延べ床面積7,050坪）
 あきる野フルフィルメントセンター（延べ床面積3,000坪）
 多摩工場（印刷加工工場）
 サンゲート（延べ床面積1,000坪）

COMPANY INTRODUCTION



MISSION

未来イノベーションCOMPANY

より良い未来に向けて、仲間と共にイノベーションを起こす

VISION

デジタル×フィジカルで “企業の未来にイノベーションを起こす”

企業の非効率を解消し、挑戦に向き合う時間を創造する

なぜ今、MICが選ばれるのか？

リテール販促業界を取り巻く環境

止まらない

原価高騰

人手不足と資材費・物流費などの高騰により
あらゆるものの価格が上昇しており、
リテール販促の領域においても同様の事象が起きている



物価高騰に対する対応

高騰し続ける原価に対して多くの企業が

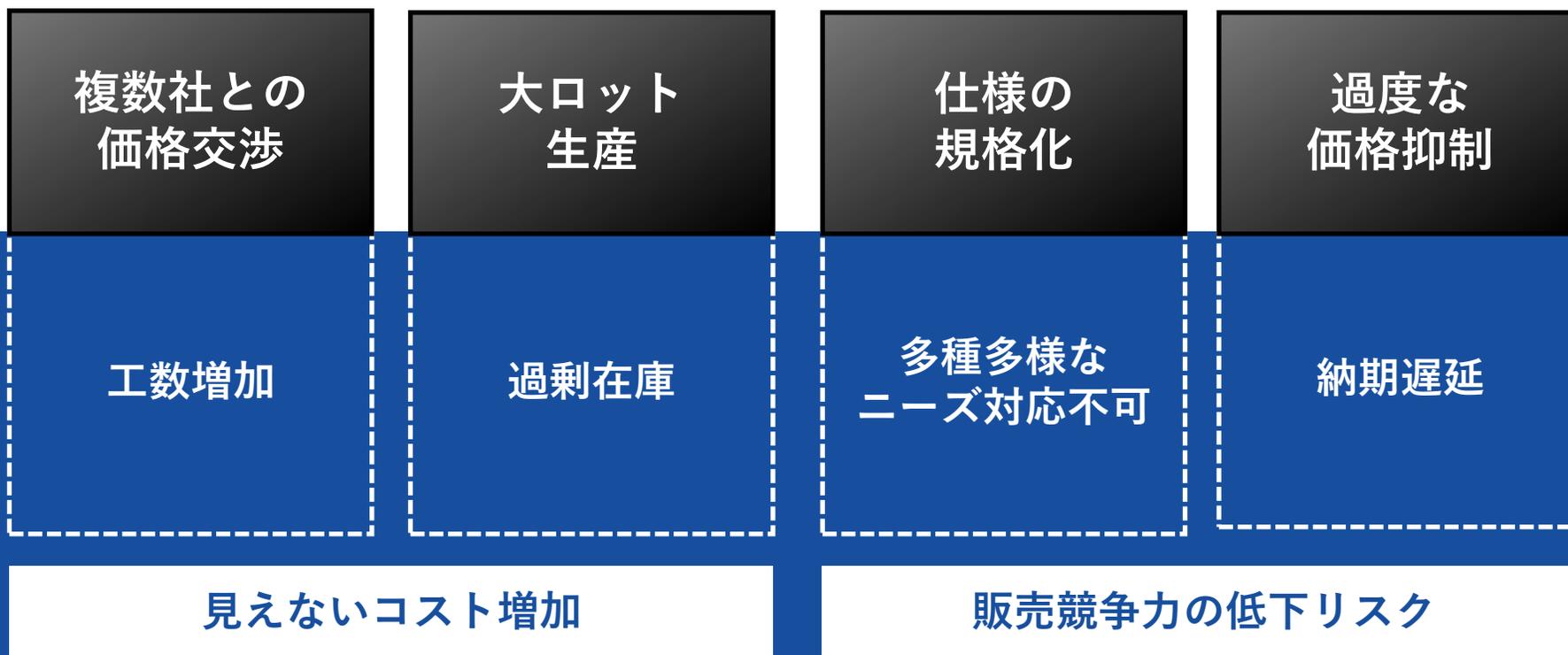
個別の単価抑制・個別最適を実施



販促物のサプライチェーンのイメージ

物価高騰に対する対応

個別の単価抑制による 見えないコスト増加と販売競争力の低下リスクが発生



個別対応・個別最適の限界

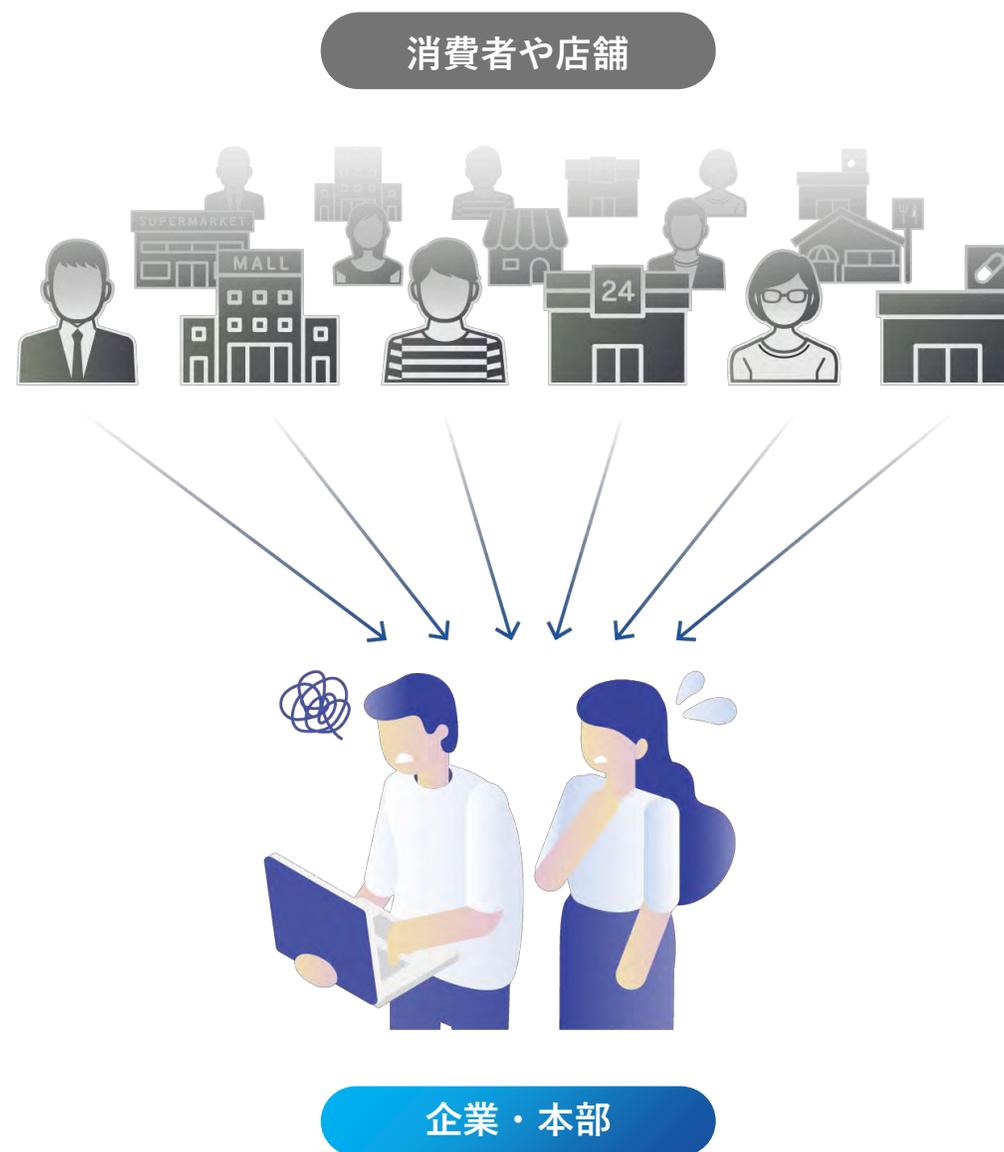
販促業務の隙間には
多大なムダが存在。

背景にあるのは、

多様化する社会の中で

変動し続ける

消費者や店舗の需要



販促業務の全体最適とは？

販促業務の サプライチェーン改革 が重要

販促物の
個別単価抑制



Supply Chain Management

販促業務全体の 超最適化

販促業務の超最適化

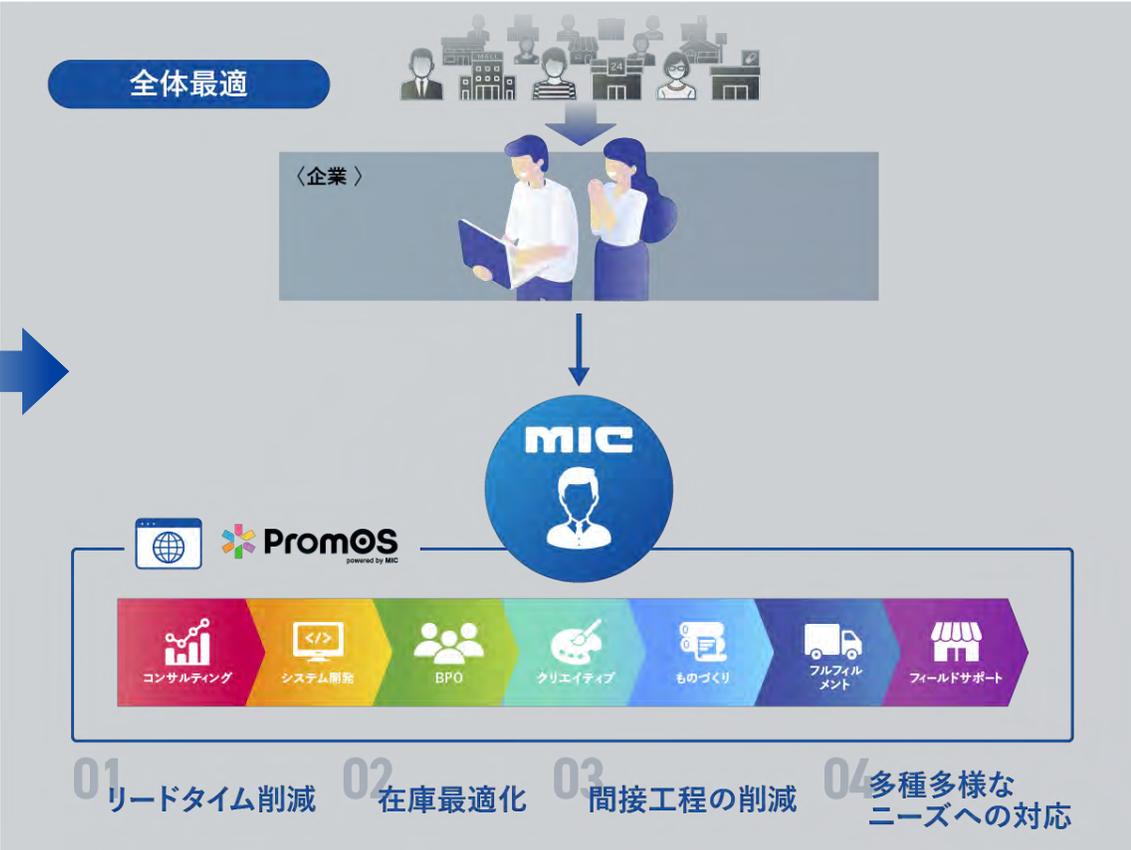
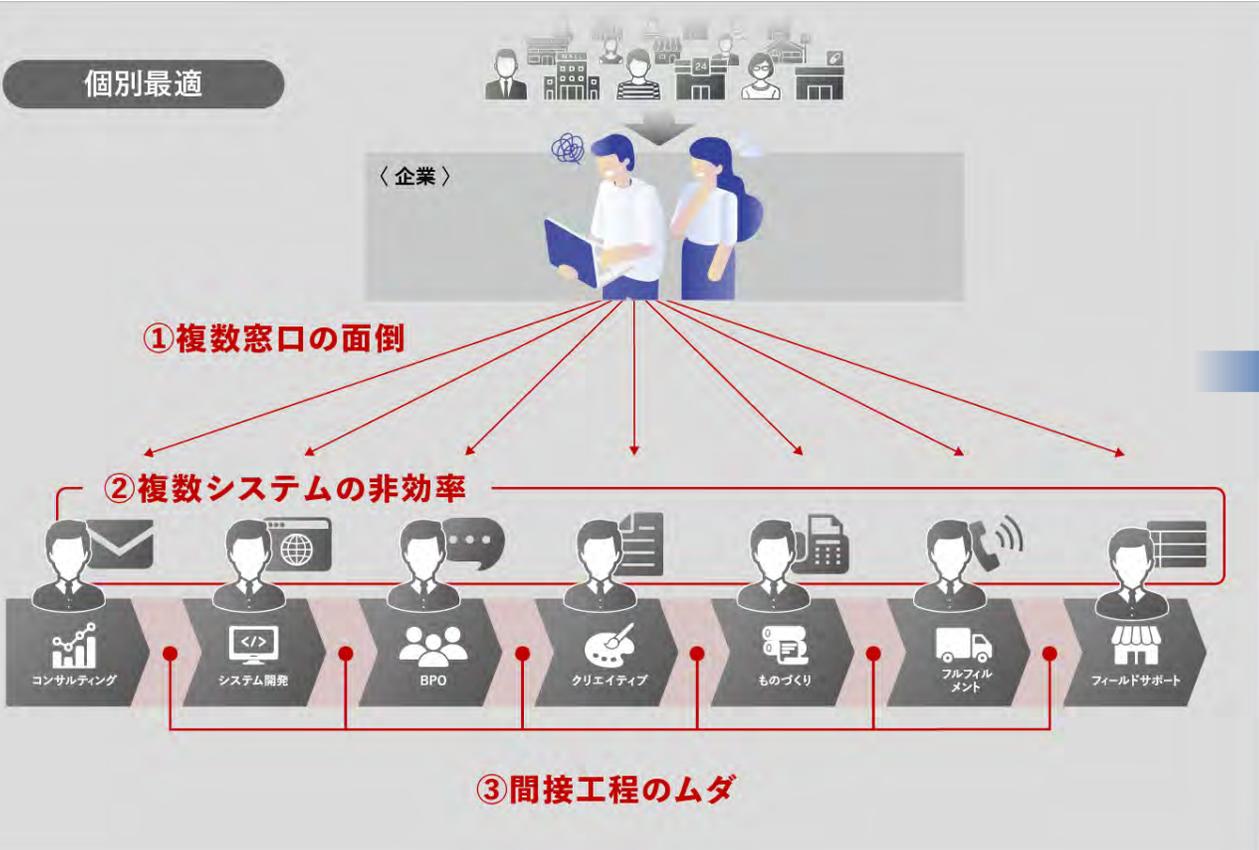
ヒト・モノ・情報の集約による販促業務のサプライチェーン改革

販売競争力の強化

と

コスト最適化

の両立を実現



MICが提供するソリューション

販促業務の サプライチェーン改革

販促業務のDX

販促領域をトータルオペレーション

PromOS × 360°フルサービス

powered by MIC

販売競争力の強化

需要変動
への対応

リードタイム
短縮

クリエイティブ
品質の向上



コスト最適化

製造費削減

在庫最適化

間接工数の削減



豊富な導入実績

日本を代表する食品メーカー企業
大手食品メーカー企業様

PromOS導入による支店管理の販促物を削減

年間利益

1,300万円の創出

月間営業稼働時間

270時間の創出

国内店舗数No.1
大手外食チェーン企業様

PromOS導入による販促物門の管理業務を改善

年間利益

850万円の創出

年間業務工数

2,180時間の創出

食を通じた社会課題解決企業
大手食品メーカー企業様

システムと拠点の統合により販促業務改善

販促物制作・管理コスト

1,600万円の削減

販促物業務時間

50%の削減

アジア出店店舗数最大のグローバル企業
大手外食チェーン企業様

PromOS導入により各種管理業務を改善

年間利益

3,000万円の創出

年間業務工数

1,360時間の創出

国内16,000店舗以上
大手コンビニエンスストア様

販促企画から製造・配送まで一気通貫で対応

労務費

4.5億円の削減

販促制作コスト改善

8,000万円の削減

従業員数30,000名以上
大手化粧品メーカー企業様

販促物の共同配送によるコスト改善

配送費用

最大**30%**削減

現場一部作業工数

60%削減

組織図

自社製造機能を持った コンサルティングカンパニー



INDEX

未来イノベーション
COMPANY

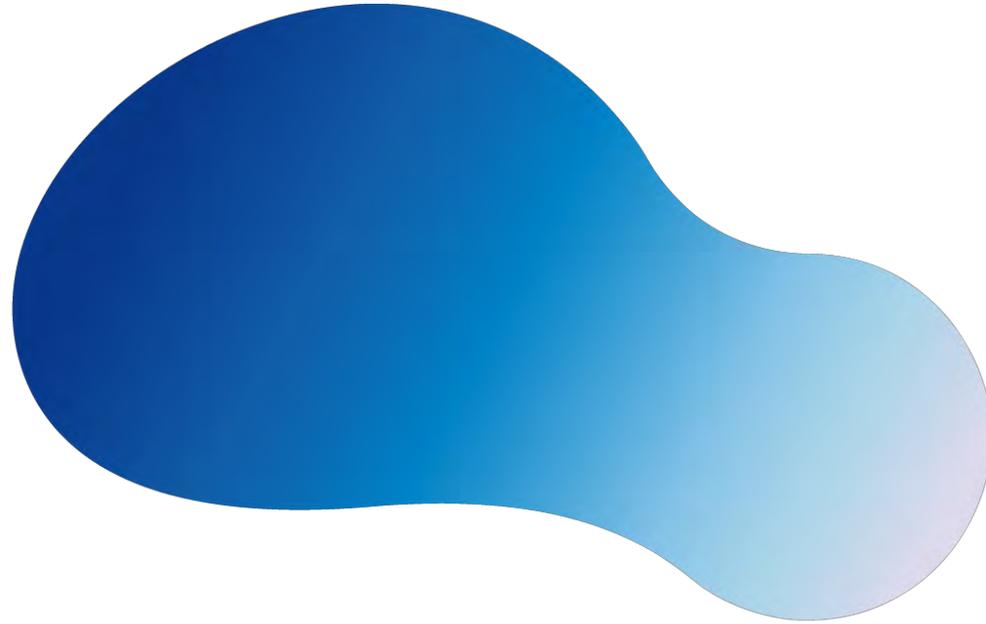
01 | ハイライト

02 | 2026年3月期 3Q業績

03 | 会社概要と事業特徴

04 | 業績好調を支えるトピックス

04



WONDER BLUE

a division of MIC

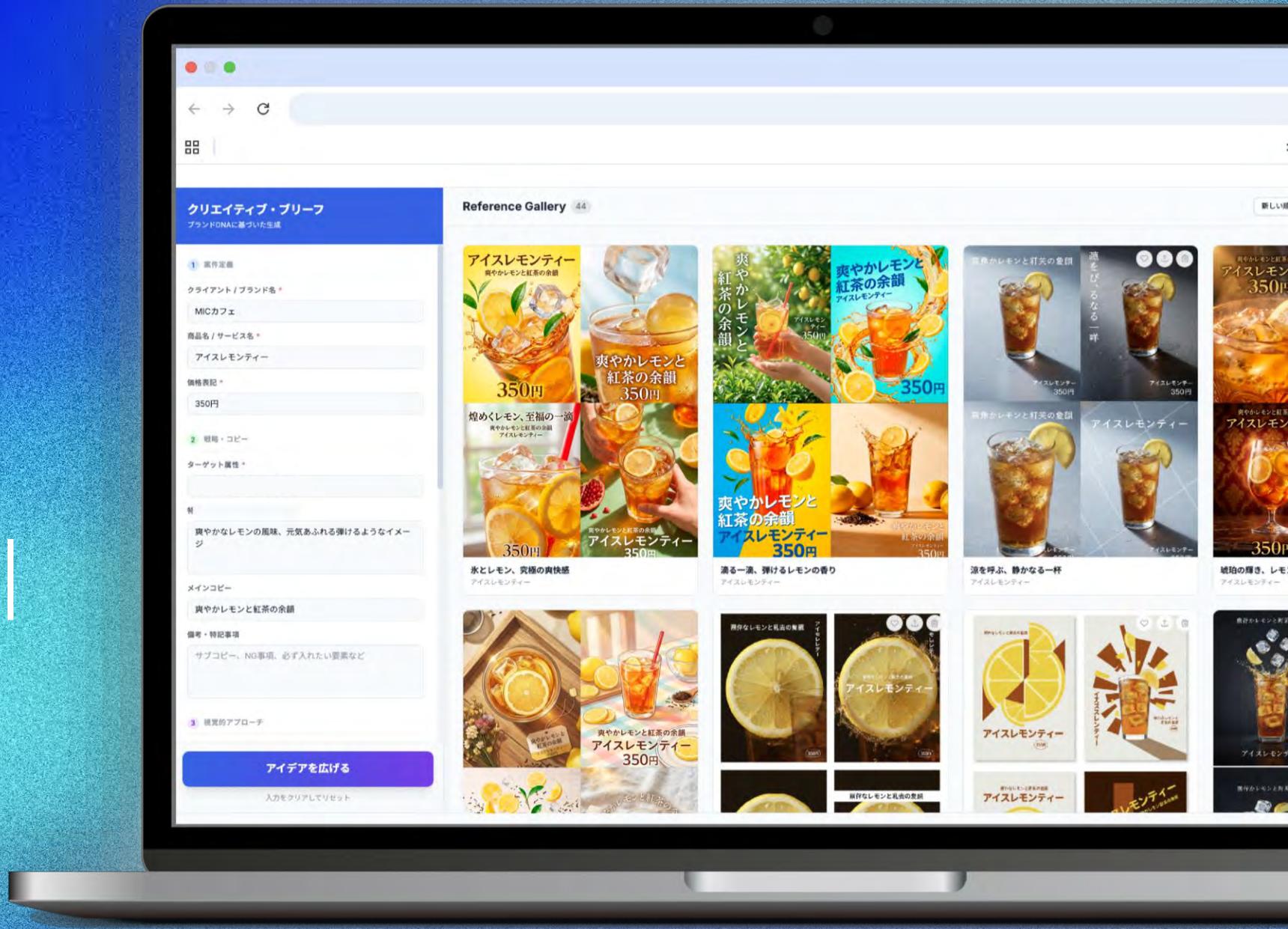
AI CREATIVE PARTNER |

produce by MIC

AIクリエイティブパートナー紹介動画に関しましては、決算説明動画を御覧ください。

AI CREATIVE PARTNER |

produce by MIC



爽やかレモンと紅茶の余韻

04 | 業績好調を支えるトピックス

AIクリエイティブパートナー



350円



爽やかレモンと紅茶の余韻
アイスレモンティー
350円



爽やかレモンと
紅茶の余韻
350円



アイスレモンティー
350円



爽やかレモンと紅茶の余韻
アイスレモンティー
350円



爽やかレモンと紅茶の余韻
アイスレモンティー
350円



アイスレモンティー
350円



爽やかレモンと紅茶の余韻
アイスレモンティー
350円



爽やかレモンと
紅茶の余韻
アイスレモンティー
350円

1分で20案のデザインラフを生成

MIC

©2026 MIC CO.,LTD. All Rights Reserved.



る、黄金の滴

紅茶の余韻



爽やかレモンと紅茶の余韻
アイスレモンティー

350円



爽やかレモンと紅茶の余韻
アイスレモンティー



爽やかレモンと紅茶の余韻
アイスレモンティー



爽やかレモンと
紅茶の余韻
アイスレモンティー
350円



爽やかレモンと



煌めくレモン、至福の一滴
爽やかレモンと紅茶の余韻
アイスレモンティー



爽やかレモンと紅茶の余韻
アイスレモンティー

350円



爽やかレモンと



爽やかレモンと
紅茶の余韻

アイスレモン
ティー
350円



アイスレ
爽やかレ

爽やか

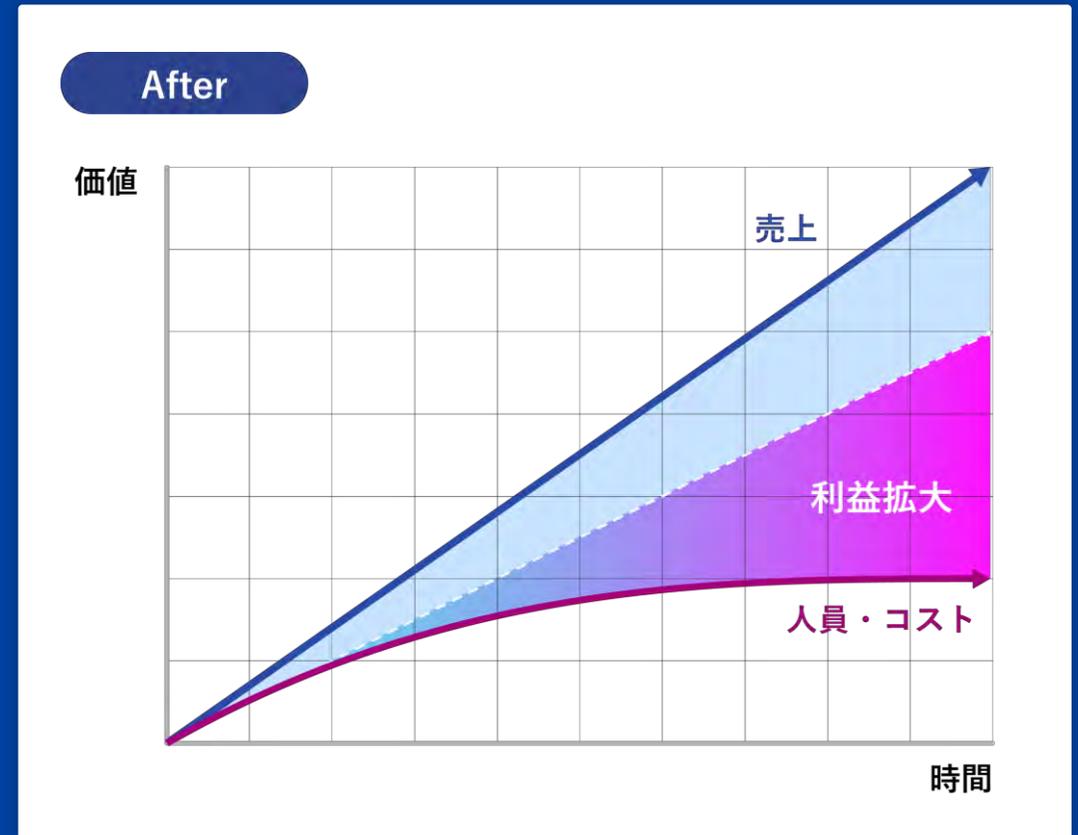
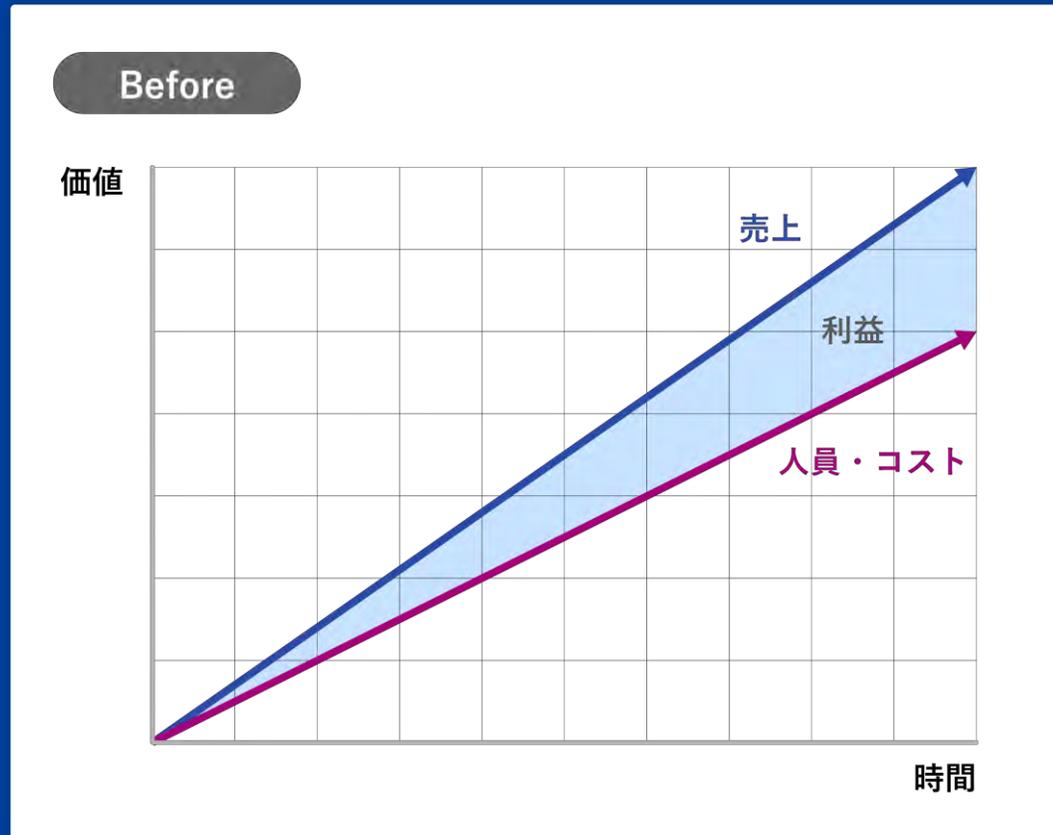
AIを用いた業務フロー

AIを活用したクリエイティブワークにより、大幅な工数削減



AIを用いた業務フロー

利益拡大を目指すために、AIを用いてデザイン組織の改革を実施



売上を伸ばすために人数を増やす必要がある

同じ人数で利益を拡大

100人超の
多彩なクリエイター

無限の
クリエイティブを
クライアントに提供

AI

クリエイティブ
パートナーの活用

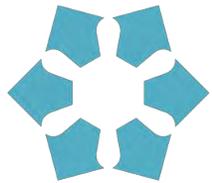
成長戦略実現のカギ

戦略的サービス①

顧客数の拡大

ドラッグストアチェーン向け販促物共同配送サービス

Co.HUB (コハブ)



Co.HUB

powered by MIC

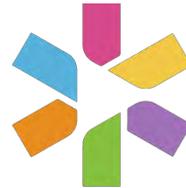


戦略的サービス②

顧客単価の拡大

リテール販促業務のDXクラウドサービス

PromOS (プロモス)



PromOS

powered by MIC

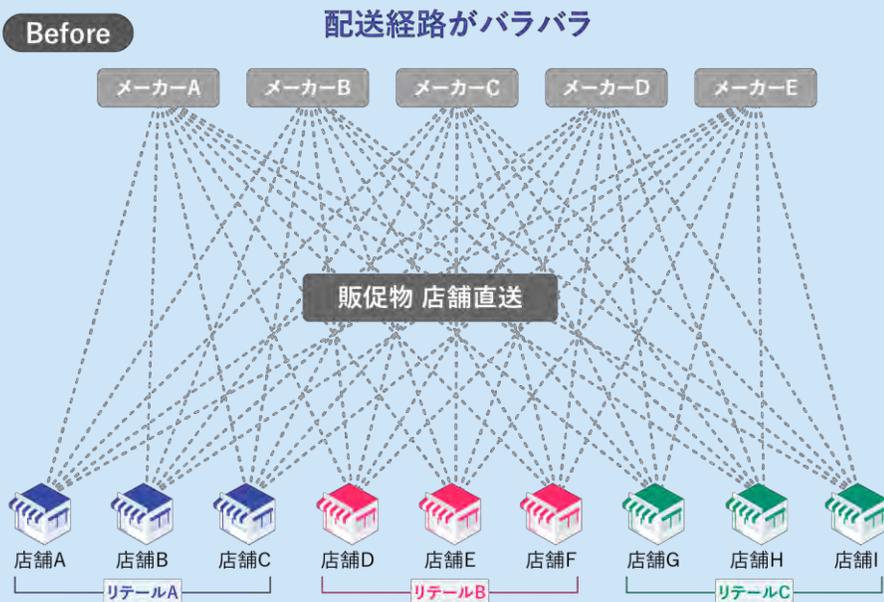
Co.HUBのグッドデザイン賞受賞



GOOD DESIGN AWARD 2025 BEST 100

業界構造の課題を解決する
物流デザインとして高く評価

グッドデザイン ベスト100受賞



Co.HUB新規導入

2社

大手ドラッグストアチェーン 共同配送スタート!

スギ[®]ホールディングス

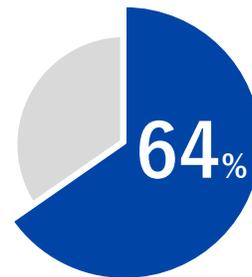
+ Tomod's

ドラッグストア国内店舗数ランキング (引用元: 月刊マーチャндаイジング【ドラッグストア白書2025】)

順位	チェーン企業
1位	マツキヨココカラ&カンパニー
2位	ウエルシアホールディングス
3位	ツルハホールディングス
4位	スギホールディングス
5位	コスモス薬品

Co.HUB
導入済

ドラッグストアでの導入率



ドラッグストアの全国19,664店舗のうち

12,495店舗^{※2} **34**チェーン^{※1}

契約メーカー企業数^{※3}



646社

(うち利用メーカー企業数: 404社)

※1 2025年12月31日時点でCo.HUBを導入決定済のドラッグストアチェーン数。当事業年度より、社数カウント方法を一部変更。変更後のカウント方法に基づく2025年3月31日時点の導入決定ドラッグストア社数は34チェーン

※2 全国のドラッグストアの店舗数については経済産業省「商業動態統計調査」(2025年5月)より引用。カバーしている店舗数は2025年12月31日時点で販促物の共同配送プラットフォームサービスを通じて配送可能な店舗数

※3 2025年12月31日時点でのCo.HUB利用の契約済みメーカーの数

Co.HUB新規導入

新業態

家電量販店業界

初

共同配送スタート！

EDION

家電量販店業界の店舗数

順位	チェーン企業	店舗数
1位	ヤマダ電機	761店舗
2位	ケーズデンキ	558店舗
3位	エディオン	454店舗*
4位	ノジマ	278店舗
5位	ジョーシン	207店舗
6位	コジマ×ビックカメラ	138店舗

*フランチャイズ店舗除く

引用元 https://kenseisha.com/20231218_kadenshoprank/

業界ごとの市場規模

業界名	市場規模	店舗数
スーパーマーケット業界	約17兆円	約6,100店舗
コンビニ業界	約13兆円	約57,000店舗
家電小売業界	約7兆円	約2,660店舗
ドラッグストア業界	約9兆円	約20,400店舗
ホームセンター業界	約3兆円	約4,600店舗

引用元 経済産業省「商業動態統計速報」 / Gfk Japan「家電小売市場の動向」

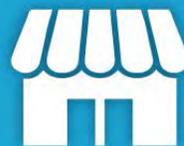
Co.HUBの実績

物流のインフラを基盤に

店頭販促で唯一無二の

価値を提供する

デジタル×フィジカルの融合で
店頭体験をもっと豊かに



日本全国の
ドラッグストアでの導入率

64%

家電量販店での共同配送も開始

物流はスマートに
コンテンツはリッチに



店舗との接点を
データに変え価値創造する



取組トピックス（売上拡大）

販促活動の全体最適DXを
実現するPromOSが
2025年12月末時点で

31社に増加

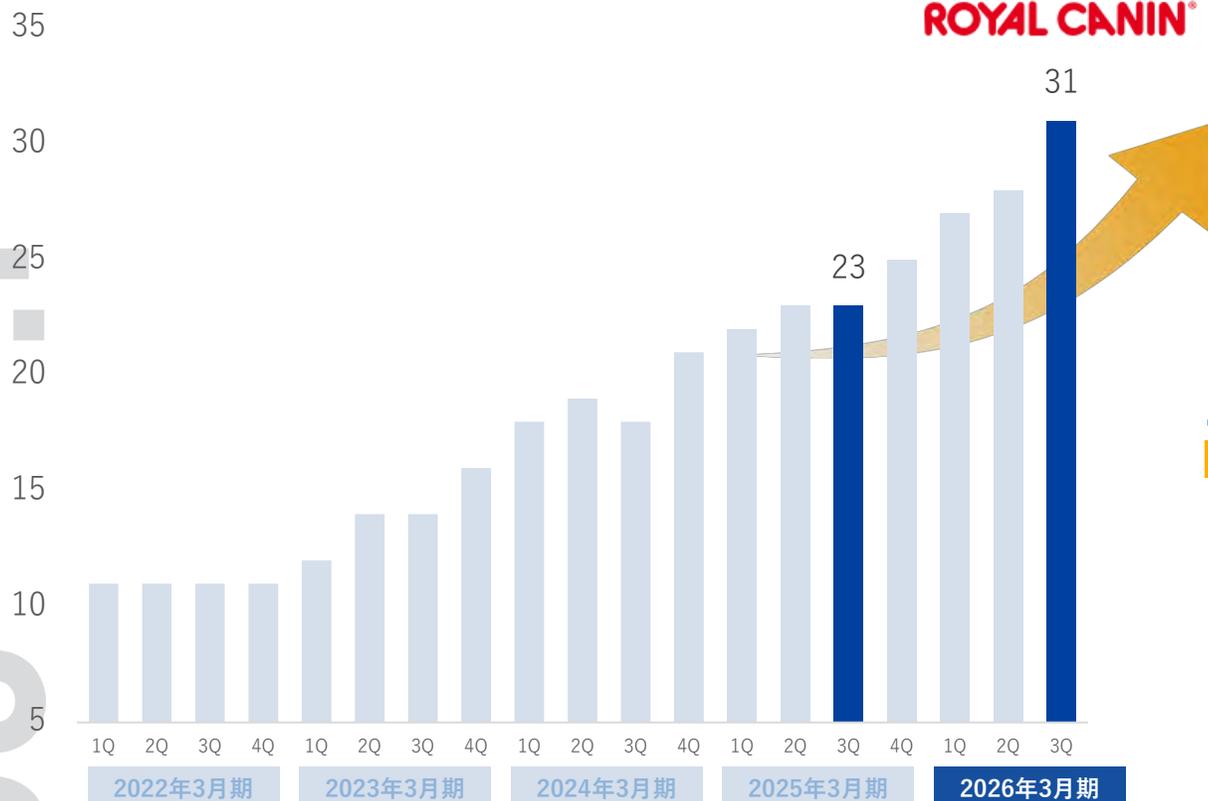
2026年度3月期末においては

33社に導入見込み



導入社数の推移

新規利用開始

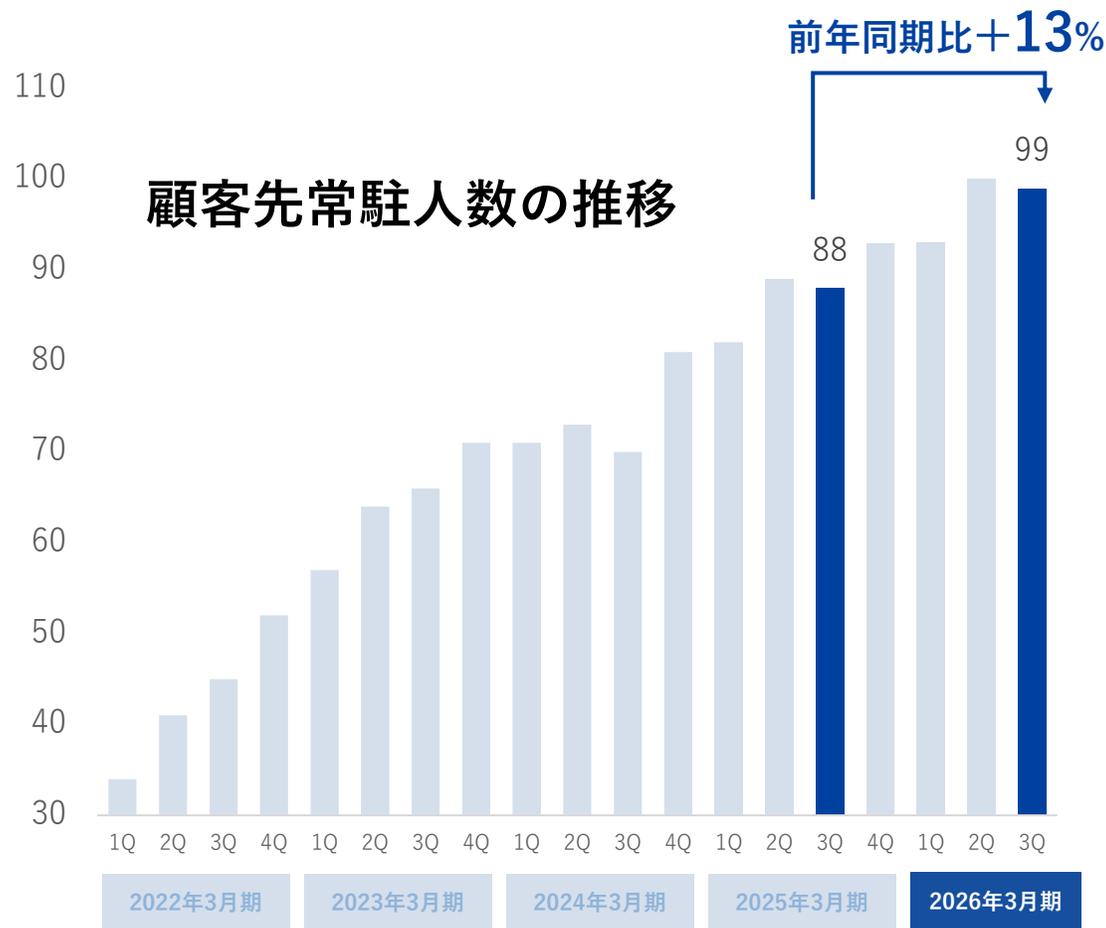


取組トピックス（売上拡大）

Business Process Outsourcing

顧客課題をスピーディに
ともに解決する顧客常駐数は、
前年同期比 +13% と増加傾向

顧客先常駐人数の推移



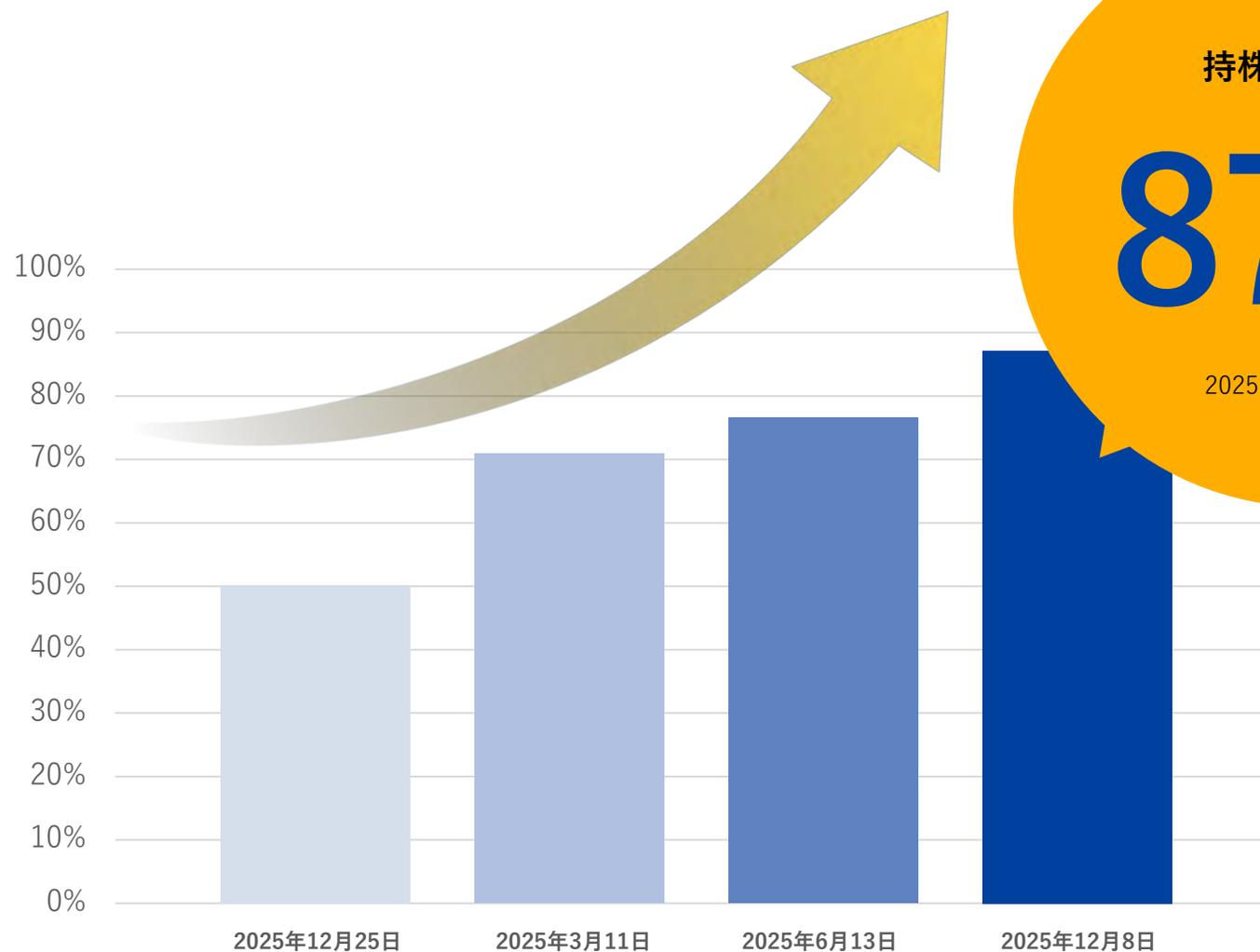
顧客先常駐人数
前年同期比
+13%

持株会

全員経営を目指し、
社内持株会加入率

87%を突破

社内持株会加入率



MIC
持株会加入率

87.1%

2025年12月末時点

取組トピックス(るのパレット増設)

事業拡大と業務効率化により 生産性の更なる向上を図る

(2028年3月期決算に寄与)

るのパレットに隣接する当社保有の
土地にフルフィルメントセンターを
増設

るのパレット増設
2027年春 稼働予定



最後に

社会課題の解決

360°フルサービスカンパニーとして
より多くの顧客の皆様から
「信頼され、選ばれ続ける」企業となることを目指します。

早期にプライム上場基準達成を目指す！



未来イノベーションCOMPANY

MIC